

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
○家庭や地域社会から信頼され、期待される安全・安心で魅力ある学校づくりを推進する。 ○一人一人の生徒の個性と能力を最大限に伸ばし、将来の夢や可能性を広げる確かな学力をつける。 ○知徳体美のバランスのとれた生徒を育成し、すべての生徒がよりよい社会の構築に貢献できる力をつける。	○授業規律が守られ、落ち着いた学習環境を維持することができた。主体的に学ぶ態度を育成しながら、基礎学力の定着と知識を活用する力を育成する。 ○主体的に進路選択ができるよう勤労観・職業観を育てるキャリア教育を推進した。大学入試改革の現状及び生徒の学力・進路希望等を分析し、的確な進路指導を継続して行う必要がある。 ○丁寧で粘り強い指導を行い、安全で安心できる教育環境を維持することができた。情報化社会に対応した規範意識をさらに高める必要がある。 ○地域や学校と連携したボランティア活動に参加し、自己有用感を高めることができた。 ○担任・教科担当・部活動顧問が相互に協力し、部活動を通して豊かな人格形成を行う。 ○ビブリオバトルなど、教科学習での図書館利用した取組が増えた。学校全体で取り組む読書活動の実現を検討する。	○生徒一人ひとりの学習意欲を喚起し、わかる授業、伸ばす授業を追求し、時代の要請を踏まえた授業改善に努め、確かな学力を育む。 ○挨拶の励行、遅刻の防止、正しい身だしなみなど基本的生活習慣の徹底を図るとともに、規範意識を高める。 ○学校行事の充実を図るとともに、部活動やボランティア活動、読書活動等を推進し、将来に役立つ幅広い力を身に付けさせる。 ○積極的な地域連携、校種間連携を進めるとともに、教育活動の公開と広報を行う。 ○上記の各項目を推進するため、各分掌・教科の連携を図り、全教職員が一体となって取り組む体制づくりを行い、効果的かつ組織的な教育活動を実践する。

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
学習指導	基礎基本を徹底して、わかる授業、伸ばす授業を追求し、学力を充実・伸長させる。	基礎基本の習得とともに主体的・協働的活動を取り入れたわかる授業、伸ばす授業を工夫する。 ICT機器等を活用し、生徒の興味関心を引き出す方策を研究し実践する。 授業の目標やねらいを生徒に明示し、小テストや課題等で具体的に評価できる機会を設ける。 学校設定教科「文化探究」における探究活動を他教科に波及させる。		
生徒指導	問題行動を未然に防ぐとともに、基本的生活習慣を確立させ、好ましい生活態度と社会性を育成する。 主体的・自主的に行動でき、協調性に富み、豊かな感性を持った生徒を育成する。	挨拶、服装、言葉使い等のマナーについて一致して指導にあたり、規律ある学校生活を送らせる。 遅刻や欠課についての指導を徹底し、基本的生活習慣を確立させる。 いじめ・暴力・インターネットの利用マナー違反等を防止する啓発活動を一層充実させる。 生徒会を中心に学校祭等の学校行事を充実させ、全生徒に達成感をもたせる。 部活動加入率80%、ボランティア活動生徒数のべ400人を目標に生徒が協力、切磋琢磨する集団をつくる。		
進路指導	キャリア教育を推進し、進路選択能力の涵養を図る。 学力向上を図る取組を、組織的にを行い、生徒の進路希望を実現させる。	新学習指導要領と入試制度改革に対応する取組を系統的に実施する。 「社会的自立」を目指した見識と態度の育成を分掌・教科の連携により全校体制で行う。 学習習慣の向上に取り組み、平日の自学習時間を前年度比5%向上させる。 個に応じた指導を行うため、生徒・保護者に対する進路相談を各学年で複数回行う。 入試に対応した学習指導を強化し、4年制大学への合格率を前年度比3%向上させる。		
人権教育	自己と他者を尊重する態度や実践力を培う。	人権問題への総合的な取組を推進するため、他校種や校外の関係機関との連携を深める。		
環境教育	環境教育の充実と学習環境の整備に努める。	ゴミの出し方のマナーを徹底し、環境保護の意識を高める活動を推進する。 日常の清掃指導を徹底するとともに、生徒自らが学習環境を整える態度を養う。		
健康・安全	生徒自らが健康の保持増進ができるよう支援を行い、健康教育を推進する。	心身両面において支援の必要な個々の生徒のニーズに対応し、健やかな学校生活を送らせる。 講演会や講習会を通して、健康に関する知識を習得するとともに、委員会において広報活動を行う。		
学校図書館	学校教育活動を図書館の機能で効果的にバックアップする。	教科や分掌との連携を密に行い、ICTを活用し、生徒が自ら学び、探究する読書活動を推進する。 日常の委員会活動や行事の際の企画を充実させることで、生徒の自主性を育てる。		
危機管理	施設・設備の管理を充実し、文書・情報管理を徹底する。	施設・設備の安全点検を定期的に行うとともに、危機管理体制を整備する。 個人情報を含む文書・電子情報の管理がより適切に行われる環境や運用方法を整備する。		
家庭・地域社会との連携	教育活動の積極的な公開と広報を通して、地域に開かれた学校作りをおこなう。	授業参観や懇談会等、本校の教育活動を保護者や中学校に周知する機会を積極的に設定する。 学校公開、広報紙、メール配信、ホームページ等を充実させ、広報活動の推進に資する。		

学校関係者評価委員会による評価	
-----------------	--

次年度に向けた改善の方向性	
---------------	--